

第107期 中間報告書

[平成18年4月1日～平成18年9月30日]

Chemical Products

Laminated Sheets

Building and Housing Materials

Electronics



アイカ工業株式会社



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
中間連結決算 中間連結貸借対照表／中間連結キャッシュ・フロー計算書 中間連結損益計算書／中間連結株主資本等変動計算書	
中間単独決算 中間貸借対照表／中間損益計算書 中間株主資本等変動計算書	
■ 会社の概要	9
■ 株式の状況	10
第107期中間配当金のお支払いについて	
■ 株主メモ	裏表紙

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第107期中間連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年9月30日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は増加し、雇用情勢や所得環境の改善により個人消費も増加基調となるなど、景気は総じて堅調に推移いたしました。

住宅市場におきましては、個人所得の改善に加え、金利先高感や地価の下げ止まり、団塊ジュニア世代の住宅取得が住宅投資の下支えとなり住宅着工件数は底堅く推移いたしました。非住宅市場におきましても、民間投資は景気回復を背景に概ね堅調に推移いたしました。公共投資は依然厳しい状況が続きました。

このような状況にありまして当社グループは、環境配慮型商品の開発に積極的に取り組み、意匠と機能を高め、お客さまのニーズにマッチした高意匠・高機能の商品開発に鋭意努力するとともに、原油価格をはじめとする資源価格の高騰に伴う原材料の値上げに対処するため、グループをあげて生産効率の向上、コスト削減、経費削減に努めつつ、商品への価格転嫁を図りましたが、原材料の値上がり完全に吸収することはできず利益を圧迫するに至りました。

8月には、従来より進めてまいりました顧客満足度の向上、業務効率の向上を更に促進させるべく新基幹系システムを立ち上げました。また、中国におけるメラミン化粧板の需要増に対処するため、8月に上海市に販売子会社「愛克樹脂貿易(上海)有限公司」を設立いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は48,010百万円(前年同期比3.0%増)、経常利益は5,012百万円(前年同期比0.6%減)、

中間純利益は3,077百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

当期の中間配当につきましては、本年11月10日開催の取締役会におきまして、前期中間配当11円に創立70周年記念配当2円を加え、1株につき13円とし、12月8日を支払開始日とすることに決定させていただきました。

今後の見通しにつきましては、原油価格・為替相場・米国経済の動向など先行き不透明な部分はあるものの、企業収益の改善に伴う民間需要に支えられ、概ね安定した経済成長が続くものと思われる。

当社グループはこのような状況を十分認識し、市場のニーズを的確に捉えた魅力ある新商品の積極的投入、営業力強化による拡販、原価低減の更なる推進、カンパニー間の相互補完体制を強化するとともに、稼動し始めた新基幹系システムにより、一層の業務改善・顧客満足度の向上を図ってまいります。また、中国瀋陽市にある生産子会社「瀋陽愛克浩博化工有限公司」は、業容拡大のため工場移転を行い、生産品目の増加と生産能力の増強を図るとともに、「愛克樹脂貿易(上海)有限公司」の設立で、中国におけるメラミン化粧板の拡販に努めてまいります。

当社は本年10月20日をもちまして創立70周年を迎えることができました。これはひとえに長年にわたる株主の皆様のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。当社グループは、今後も持続的な成長を達成しうる事業体制を構築するため、環境経営・コンプライアンス(法令遵守)・CSR(企業の社会的責任)を重視し、社会から信頼される企業を目指し、グループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



代表取締役会長

富田章嗣



代表取締役社長

渡辺 修

化成品セグメント

環境志向を背景に、接着剤系商品では超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性接着剤、樹脂系商品では工場などの床に塗布する塗床材「ジョリエースエコ」が好評を博しました。また、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」は、天然の土を使用した塗壁材「爽土（そうど）」が自然素材志向に合致し、可とう性（ひび割れしにくい）と低汚染の特長を合わせ持つ「ジョリパットネオ」は、外装仕上塗材としての機能・意匠面、素材感で高い評価をいただくことができました。

なお、当セグメントは、原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上がりの影響を顕著に受けるため、徹底したコスト削減と商品への価格対応を図りましたが、度重なる値上げを十分に吸収できず収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は13,139百万円（前年同期比0.2%減）となりました。



外装・内装仕上塗材
ジョリパット

〈外壁面への使用例〉

（設計：studio ARCHI FARM 一級建築士事務所）



環境配慮型接着剤
Fフォースター（F☆☆☆☆）対応
アイエコエコボンド

建材セグメント

メラミン化粧板は、木口意匠に特長を持つ「アイカピュアコア」や木目のリアル感を高めた「アイカラビアン」の新柄など高い意匠性をもつ商品が商業施設で多数採用され持続的な成長を図ることができました。また、環境配慮型商品は、特定のVOC（揮発性有機化合物）を含まない化粧合板の品揃えを強化するとともに素材連携を生かした家具・什器・建具などが、医療施設・老人保健施設・教育文化施設などに採用され売上げを伸ばすことができました。壁装材商品は素材感を生かした突板不燃やメタル不燃が好評で周辺商品とともに用途を広げ販路を拡大することができました。

この結果、当セグメントの売上高は14,559百万円（前年同期比4.4%増）となりました。



アイカメラミン化粧板
〈店舗への使用例〉



アイカハイボード不燃
〈マンションエントランスへの使用例〉

住器建材セグメント

インテリア建材は、メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」がその高い意匠性を評価され、シンプル&モダンの住宅を中心に多数採用され堅調でしたが、「マーレス・リアルシリーズ」は、価格競争の激化により苦戦いたしました。不燃化粧材「セラール」は新柄・新エンボスの高い意匠性が評価され、新築戸建住宅・新築マンションに多数採用されるとともに、即納体制の確立や幅広いサイズ対応により、リフォーム市場でも大きく売上げを伸ばすことができました。カウンターにつきましては短期対応力を更に強化した結果、大型物件だけでなくリフォームにも多数採用いただきました。

この結果、当セグメントの売上高は15,745百万円(前年同期比1.0%増)となりました。



アイインテリア建材
〈マーレス引き戸
・高齢者用集合住宅への使用例〉

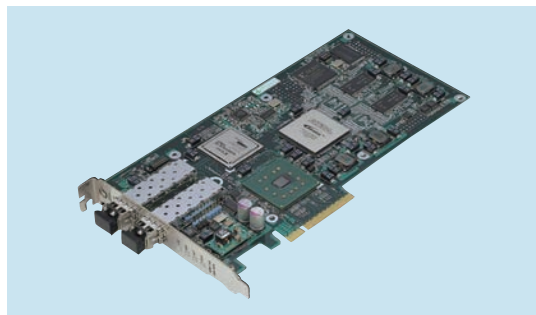


**アイメラフュージョン
プレーン**
プレミアムレザー
〈収納扉・収納棚への使用例〉

電子セグメント

プリント配線板は、高速伝送・電磁波障害対策分野に注力し、少量試作品から海外委託先を活用した量産品まで一貫した受注・生産対応で、品質・コスト・納期を要求されるユーザーニーズに応えてまいりました結果、情報通信・半導体関連などの分野を中心に、高多層板の売上げを伸ばすことができました。また、電子材料は新たに光学材料用の樹脂分野に採用されました。

この結果、当セグメントの売上高は3,567百万円(前年同期比30.8%増)となりました。



アイコアプリント配線板
〈高速EMC技術応用ボード〉

その他セグメント

有機微粒子は、光拡散剤向けがメーカー間格差はあるものの回復基調となり伸長いたしました。化粧品向けが苦戦いたしました。また、受託加工品である保存剤も低調でした。

この結果、当セグメントの売上高は998百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

中間連結決算

● 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	57,323,851	56,188,720
現金および預金	14,668,436	17,523,349
受取手形および売掛金	35,273,507	31,865,813
有価証券	—	397,040
たな卸資産	5,135,500	4,483,965
繰延税金資産	756,760	724,889
その他	1,513,837	1,227,776
貸倒引当金	△24,191	△34,112
固定資産	28,484,884	25,770,819
有形固定資産	16,058,740	16,313,095
建物および構築物	7,018,328	7,296,861
機械装置および運搬具	3,648,514	3,925,346
工具、器具および備品	1,195,624	927,758
土地	3,695,197	3,878,675
建設仮勘定	501,075	284,453
無形固定資産	2,607,052	1,334,252
ソフトウェア	2,441,669	250,832
その他	165,383	1,083,419
投資その他の資産	9,819,092	8,123,471
投資有価証券	8,341,980	6,775,408
長期貸付金	41,240	60,700
繰延税金資産	52,578	41,951
その他	1,401,304	1,275,355
貸倒引当金	△18,011	△29,944
資産合計	85,808,736	81,959,540

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,600,578	2,611,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,257,209	△1,675,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,993,692	△603,919
現金および現金同等物に係る換算差額	△15,776	2,671
現金および現金同等物の増減額	△2,666,100	333,940
現金および現金同等物の期首残高	17,334,537	17,189,408
現金および現金同等物の中間期末残高	14,668,436	17,523,349

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	22,037,561	23,940,299
支払手形および買掛金	16,462,059	14,978,764
短期借入金	403,340	3,622,205
未払法人税等	1,810,809	1,991,183
未払消費税等	47,367	141,502
賞与引当金	1,131,657	1,099,245
その他	2,182,326	2,107,398
固定負債	1,733,717	1,227,103
繰延税金負債	833,705	440,654
退職給付引当金	364,606	338,422
役員退職引当金	—	210,893
その他	535,405	237,132
負債合計	23,771,278	25,167,402

少数株主持分

少数株主持分	—	478,582
--------	---	---------

資本の部

資本金	—	9,891,708
資本剰余金	—	13,744,639
利益剰余金	—	33,650,105
その他有価証券評価差額金	—	1,963,968
為替換算調整勘定	—	△28,579
自己株式	—	△2,908,288
資本合計	—	56,313,555
負債、少数株主持分および資本合計	—	81,959,540

純資産の部

株主資本	59,243,776	—
資本金	9,891,708	—
資本剰余金	13,744,673	—
利益剰余金	38,523,255	—
自己株式	△2,915,861	—
評価・換算差額等	2,246,463	—
その他有価証券評価差額金	2,244,043	—
繰延ヘッジ損益	188	—
為替換算調整勘定	2,231	—
少数株主持分	547,217	—
純資産合計	62,037,457	—
負債純資産合計	85,808,736	—

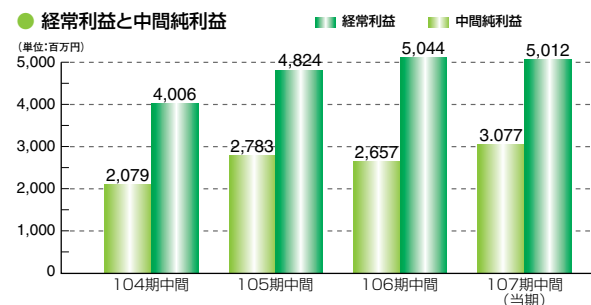
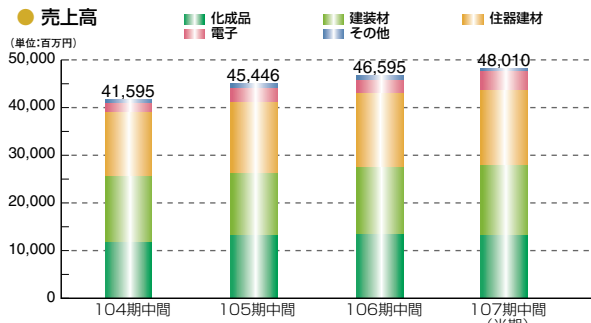
◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)
売上高	48,010,708	46,595,640
売上原価	34,812,105	33,657,720
売上総利益	13,198,602	12,937,919
販売費および一般管理費	8,257,744	7,949,361
営業利益	4,940,858	4,988,557
営業外収益	164,880	149,363
営業外費用	93,425	93,549
経常利益	5,012,313	5,044,371
特別利益	55,930	28,294
特別損失	179,388	640,254
税金等調整前中間純利益	4,888,856	4,432,411
法人税、住民税および事業税	1,768,548	1,997,023
法人税等調整額	△3,697	△273,890
少数株主利益	46,729	51,554
中間純利益	3,077,275	2,657,723

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



● 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	9,891,708	13,744,651	36,390,156	△2,913,485	57,113,031	2,640,842	—	25,255	2,666,097	549,829	60,328,959
中間連結会計期間中の 変動額											
剰余金の配当(注)			△863,076		△863,076						△863,076
役員賞与金(注)			△81,100		△81,100						△81,100
中間純利益			3,077,275		3,077,275						3,077,275
自己株式の取得				△2,402	△2,402						△2,402
自己株式の処分		21		27	49						49
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額(純額)						△396,799	188	△23,023	△419,633	△2,612	△422,246
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	21	2,133,098	△2,375	2,130,744	△396,799	188	△23,023	△419,633	△2,612	1,708,498
平成18年9月30日残高	9,891,708	13,744,673	38,523,255	△2,915,861	59,243,776	2,244,043	188	2,231	2,246,463	547,217	62,037,457

(注) 剰余金の配当および役員賞与金は、第106期の利益処分によるものであります。

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間単独決算

● 中間貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間会計 期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間会計 期間末 (平成17年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	53,117,394	51,509,202
現金および預金	13,158,148	15,857,556
受取手形	12,859,821	11,118,518
売掛金	21,530,593	19,703,205
有価証券	—	397,040
たな卸資産	3,050,892	2,795,526
繰延税金資産	627,098	601,266
その他	1,914,879	1,071,067
貸倒引当金	△24,039	△34,979
固定資産	26,238,673	23,889,300
有形固定資産	11,521,030	12,179,178
建物	5,046,283	5,331,519
機械および装置	1,969,729	2,230,266
土地	2,567,130	2,834,399
その他	1,937,887	1,782,993
無形固定資産	2,554,710	1,236,324
投資その他の資産	12,162,931	10,473,797
投資有価証券	7,627,654	6,075,613
関係会社株式	3,147,218	3,147,218
関係会社出資金	443,193	387,093
その他	962,876	893,816
貸倒引当金	△18,011	△29,944
資産合計	79,356,068	75,398,502

科 目	当中間会計 期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間会計 期間末 (平成17年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	20,159,324	21,251,602
支払手形	230,146	276,608
買掛金	15,734,268	13,756,731
短期借入金	—	2,750,000
未払法人税等	1,571,602	1,746,191
未払消費税等	20,571	125,452
賞与引当金	972,000	945,000
その他	1,630,734	1,651,618
固定負債	1,449,895	975,929
役員退職引当金	—	184,765
退職給付引当金	184,980	165,952
繰延税金負債	808,505	411,836
その他	456,409	213,375
負債合計	21,609,220	22,227,532
資本の部		
資本金	—	9,891,708
資本剰余金	—	13,752,770
利益剰余金	—	30,492,168
その他有価証券評価差額金	—	1,942,611
自己株式	—	△2,908,288
資本合計	—	53,170,970
負債および資本合計	—	75,398,502

純資産の部		
株主資本	55,525,802	—
資本金	9,891,708	—
資本剰余金	13,752,803	—
利益剰余金	34,797,150	—
自己株式	△2,915,861	—
評価・換算差額等	2,221,045	—
純資産合計	57,746,848	—
負債純資産合計	79,356,068	—

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

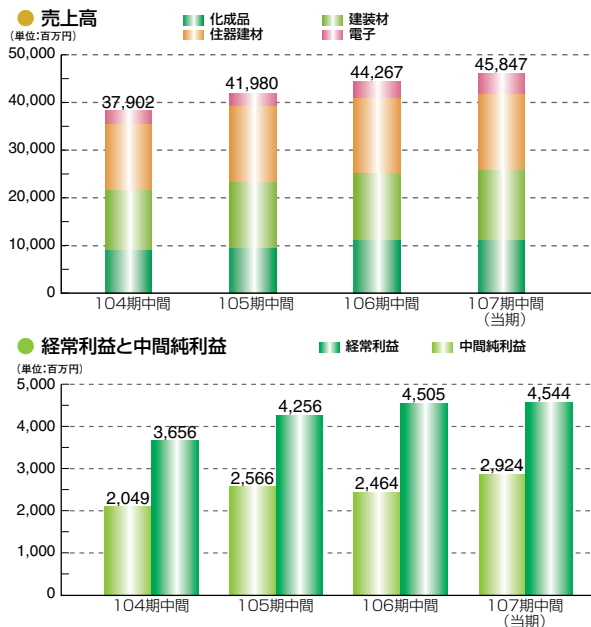
(注) 会社法施行により新書式への表記統一とともに、必要な数値調整を行っております。

● 中間損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)	前中間会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)
売上高	45,847,827	44,267,256
売上原価	34,053,160	32,837,673
販売費および一般管理費	7,559,046	7,214,737
営業利益	4,235,621	4,214,845
営業外収益	388,160	367,255
営業外費用	79,329	76,184
経常利益	4,544,452	4,505,916
特別利益	56,416	28,542
特別損失	177,791	633,377
税引前中間純利益	4,423,076	3,901,082
法人税、住民税および事業税	1,500,000	1,670,000
法人税等調整額	△1,519	△233,077
中間純利益	2,924,596	2,464,159
前期繰越利益	—	10,775,964
合併に伴う子会社株式消却額	—	38,521
中間未処分利益	—	13,201,602

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



● 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:千円)

	株 主 資 本						評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		評価・換算 差額等 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金						
平成18年3月31日残高	9,891,708	13,277,609	475,172	1,622,876	31,181,754	△2,913,485	53,535,636	2,609,491	—	2,609,491	56,145,127
中間会計期間中の 変動額											
剰余金の配当(注)					△863,076		△863,076				△863,076
役員賞与金(注)					△69,000		△69,000				△69,000
中間純利益					2,924,596		2,924,596				2,924,596
自己株式の取得						△2,402	△2,402				△2,402
自己株式の処分				21			27	49			49
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額(純額)								△388,634	188	△388,445	△388,445
中間会計期間中の 変動額合計	—	—	21	—	1,992,519	△2,375	1,990,166	△388,634	188	△388,445	1,601,720
平成18年9月30日残高	9,891,708	13,277,609	475,194	1,622,876	33,174,274	△2,915,861	55,525,802	2,220,856	188	2,221,045	57,746,848

(注) 剰余金の配当および役員賞与金は、第106期の利益処分によるものであります。

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000〔案内〕
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県)

[開発拠点] R&Dセンター(愛知県)

R&Dセンター福島(福島県)

[営業拠点]

札幌支店(北海道)	仙台支店(宮城県)	盛岡営業所(岩手県)
福島出張所(福島県)	東京支店(東京都)	埼玉支店(埼玉県)
横浜支店(神奈川県)	柏出張所(千葉県)	千葉営業所(千葉県)
宇都宮営業所(栃木県)	北関東支店(群馬県)	新潟営業所(新潟県)
松本営業所(長野県)	名古屋支店(愛知県)	静岡支店(静岡県)
金沢支店(石川県)	大阪支店(大阪府)	神戸支店(兵庫県)
京滋営業所(京都府)	広島支店(広島県)	岡山営業所(岡山県)
高松支店(香川県)	福岡支店(福岡県)	鹿児島営業所(鹿児島県)
関東支店(東京都)	中部支店(愛知県)	関西支店(大阪府)

■連結子法人等

[会社名]	[所在地]	[主な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッドインドネシア社	インドネシア	建装材製造

■主要な製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤など

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材セグメント]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子セグメント]

プリント配線板、電子システム商品、電子材料など

[その他セグメント]

有機微粒子、保存剤など

取締役・監査役および執行役員

[代表取締役会長] 富田 章 嗣

[代表取締役社長] 渡辺 修

[専務取締役] 野田 近

[常務取締役] 佐治 一良

[取締役] 岩田 照徳

[取締役] 堀田 益之

[取締役] 森 永博之

[取締役] 伊東 善光

[常勤監査役] 深田 卓朗

[常勤監査役] 酒井 眞孝

[監査役] 佐藤 純二

[監査役] 福井 清晃

[監査役] 浦部 康資

[執行役員] 岩瀬 幸廣

[執行役員] 相馬 治夫

[執行役員] 田中 彰

[執行役員] 磯貝 透

[執行役員] 小野 勇治

[執行役員] 岡田 賢児

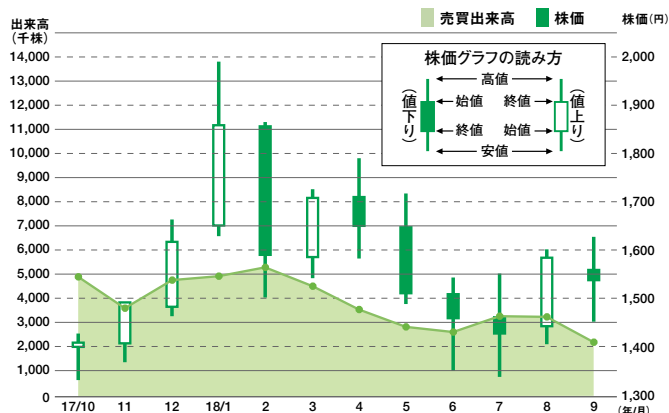
[執行役員] 阿久根 善裕

(注) 監査役 佐藤純二氏、福井清晃氏、浦部康資氏は、社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…69,890,664株

● 株主数…8,416名

株価・売買出来高の推移 (東証)

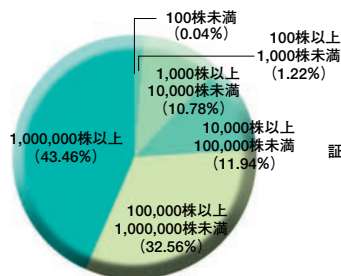


大株主 (上位10名)

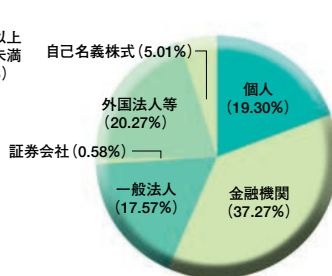
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,826	8.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,239	6.06
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,914	2.73
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.66
ジェービーモルガンチェースバンク385050	1,677	2.40
デクシア ヒーアイエル プール ジュリアス ベアー マルチパートナー マルチストック	1,497	2.14
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,387	1.98
アイカ工業取引先持株会	1,379	1.97
住友生命保険相互会社	1,318	1.88
アイカ工業株式保有会	1,252	1.79

※当社は、自己株式3,501千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

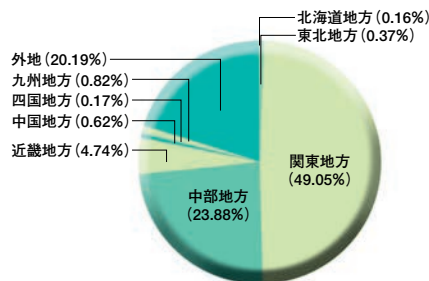
[所有株数別分布状況]



[所有者別分布状況]



[地域別分布状況]



第107期 中間配当金のお支払いについて

平成18年11月10日開催の当社取締役会におきまして、第107期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の中間配当金のお支払いについて下記のとおり決議いたしました。

記

当社定款第42条の規定に基づき、平成18年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いいたします。

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき13円 |
| 2. 支払請求権の効力発生日
ならびに支払開始日 | 平成18年12月8日(金曜日) |

以上

住まい空間を演出する



株主メモ

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■ 同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■ 上場証券取引所	東京・名古屋

■ 公告掲載方法	公告掲載URL http://www.aica.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じた時には、日本 経済新聞に公告いたします。)
----------	--

(お知らせ)

● 株式に関する手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、左記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットで24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 [三菱UFJ信託銀行本店証券代行部] (通話料無料)
電話 0120-648-479 [三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部] (通話料無料)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。